

# 令和4年度第5回松平地域会議 会議録

日時 令和4年10月26日（水）午後7時から午後9時10分  
場所 松平交流館 大会議室  
出席者 太田市長、地域会議委員14名（欠席2名）、策定部会委員5名  
事務局5名、傍聴者4名

## 【内容】

### 1 会長あいさつ

### 2 市長あいさつ

### 3 第2次松平地域まちづくり構想について

#### （1）概要説明

まちづくり構想策定部会長から概要の説明が行われた。

#### （2）意見交換

#### ①めざす姿1「住み続けたいまち 松平」

##### 【委員】

- ・ 少子高齢化が進行している自治区もあり、開発許可18号と空き家バンク制度が使えるよう、小学校区のみでなく、自治区単位まで指定できるように見直しできないか。
- ・ 土砂災害警戒区域、土石流指定区域以外の土地で家を建てるにも農地法の農地転用等の縛りがある。合併町村が緩和されているように、松平地域についても緩和をお願いしたい。

##### 【市長】

- ・ 18号適用について、相当の議論を重ねているが、住宅が集中することで、道路などに支障が出ている地域もある。しばらくは今の仕組みの中で工夫していく必要がある。農地の規制緩和を一時実施したが、思ったような宅地利用にはならなかった。
- ・ 根本的に人口減少は、止めようがない状態であり、人口が減る中でどう暮らし続けていくか、という議論をどこかでしなければならない。高齢化が進むことが悪いことではなく、昔ながらの高齢者、高齢化のイメージが払拭できないことが問題である。

##### 【委員】

- ・ （令和4年度から開始した）地域タクシーの利用状況が予想をはるかに超えており、松平には地域タクシーが必ず必要。来年度以降の予算確保を検討していただきたい。

##### 【市長】

- ・ 高齢化が進み、免許を返納する人が増えた際に自己負担のあり方をどうするか、持続可能な仕組みにしていく必要がある。持続可能な仕組みを将来にわたり責任をもって作るとしたら、負担をどう捉えるか議論していかなければならない。

#### ②めざす姿2「笑顔あふれるまち 松平」

##### 【委員】

- ・ 学校に専門の講師を呼び、性教育講座を開催しようと頑張っている。3年目にしようやく小学校5校のうち3校で開催が決まった。松平だけでなく、豊田市を包括的性教育の先進都市にしていきたい。

### 【市長】

- ・ カリキュラムは文科省の方針に基づき実施しているので学校は色々な時間をとることができない。諦めることなく、いいことであれば続けていってほしい。

### 【委員】

- ・ 豊田市が介護予防で色々な取り組みをしているが、市長が介護予防など健康のために、プライベートとして取り組まれていることはあるか？

### 【市長】

- ・ 何も取り組んでいない。今日のような意見交換会で質問に全部答えないといけない緊張感の中で、このような生活をしている間は健康である。
- ・ 介護等のケアが必要かどうかではなく、自分が決定できる、自分らしく暮らすことができることが大切である。そういった期間を快適期間といい、健康寿命と快適期間が限りなく寿命となるような社会の仕組みを作りたいと思う。

## ③めざす姿3「安心・安全なまち 松平」

### 【委員】

- ・ わくわく事業補助金について、書類上の一律的な審査ではなく、団体の活動の実情や内容を理解した審査を希望する。
- ・ 地域会議へ諮問があったことが大変ありがたかった。今回の諮問で、区長と協議し、個別支援台帳を整理することができた。
- ・ 個別支援台帳について、市が地域へ十分な時間をとり、わかりやすい説明をお願いしたい。

### 【市長】

- ・ 現在、応募者同士の相互審査を考えており、地域内の団体同士、互いの活動を知ることができるのがメリットである。自分たちで払った税金の使い道を自分たちで決めていけばよいと思っている。
- ・ 日常的に孤立感や孤独感を持っている方とどうコミュニケーションをとるかが、個別支援台帳の使い方だと考えている。災害時に使うことだけ考えていると陳腐化してしまうため、日々のコミュニケーションをとるきっかけとして使うことが、持続可能な台帳になると思う。

### 【委員】

- ・ 自主防災会の活動に対するアイデアや、良い取り組みがあれば教えていただきたい。

### 【市長】

- ・ 豊田市内でも、自主防災会のあり方が地域によって異なる。一番はリーダーの存在。

### 【委員】

- ・ 市の自主防災会規約のサンプルが各自主防災会の実態と異なっているため、規約を見直す働きかけをしている。その中で、自主防災会の代表から区長を外すように勧めている。現在の市の自主防災会規約のサンプルの内容を変えていただきたい。

### 【市長】

- ・ 自主防災会の取組は継続性が非常に大切である。1年2年で変わる区長が自主防災会の会長になると、取組が繋がらない。ただし、それぞれの地域の事情があるので、地域ごとの解決が必要である。

#### ④めざす姿4「誇れるまち 松平」

##### 【委員】

- ・ 耕作放棄地の対策として、農地バンク以外に新しい対策をしている地域があれば教えていただきたい。
- ・ 草刈や鳥獣対策を行いながら、家庭菜園を希望する人に提供する市民農園を松平に作ってほしい。

##### 【市長】

- ・ 農業従事者減少・人口減少はとめようがない。今後は、耕作放棄地をどうやったら蘇らせるかという議論ではなく、森に返す、という選択をしていくことになる。地元の農業委員が状況を把握し、どこまで農地として残せる可能性があるか、線引きをしていくことになる。
- ・ 市民農園のニーズは、自宅に近いところで農地を確保したい、ということがある。車で15分かかる場所で農作業するのが現実的かどうかというのは冷静に考える必要がある。

##### 【委員】

- ・ 鳥獣問題を抱えている地域と連携できる仕組みがあるとよい。また、企業から斬新なアイデアをいただけないか。
- ・ 松平には、松平わ太鼓や棒の手、手筒花火や天下祭など、豊田市を代表して発信できるようなことがあるので、地域が1つとなって「誇れるまち松平」を進めていく際に、よいアイデアがあればいただきたい。

##### 【市長】

- ・ 鳥獣対策は、一時実施したがイノシシやシカをヘッドライトやクラクションで脅したとしても、知恵をつけ、同じことが繰り返されてしまう。イノシシやシカは農作物の美味しい時期がわかっている。
- ・ 構想について、課題問題を整理して洗い出ししていくが、「住み続けたいまち」にしても、「笑顔あふれる」にしても、「安心安全」にしても、松平はこんなに良いんだというものがあるのではないか。
- ・ 子どもたちに対してのメッセージは、その地域の大人、特に高齢者が笑顔でいるかどうか大切だと思う。あちこちで高齢者がにこにこしており、小さな子どもたちと遊ぶ姿を見ていると、自分がここで暮らして、将来歳を重ねた際にそのような暮らしができるのだろうと思えるのではないか。
- ・ 今現在も「笑顔あふれるまち」だけれども、「笑顔あふれるまち松平」をこれからも大切にしていこう、というメッセージが子どもたちに伝わるような見せ方ができると良い。世代間をつなげて、それが「誇れるまち」や「住み続けたいまち」につながる。

#### 4 議長あいさつ

#### 5 令和5年度事業計画書について

内容を確認の上、ご意見等ある方は、11月1日（火）までに事務局に連絡。

#### 6 パブリックコメントについて

事務局にて11月に予定しているパブリックコメントについての説明を行った。また、資料③別紙の人口推計のデータの掲載について確認をし、2030年、2040年人口推計のデータを掲載することに決定した。

## 7 答申書の確認について

事務局にて答申書（案）の説明を行った後、内容協議を行った。本日の意見をもとに、11月安心安全分科会にて答申書を固めていく。委員から出た主な意見は、以下のとおり。

- ・個別支援台帳は初めから記入された状態のものがくるので、聞き取り項目が多いわけではない。
- ・個別支援台帳の運営についての説明を足してあげるとよいのではないか。
- ・毎年項目のチェックがあると考えれば、負担は大きいと考えられるのではないか。

## 次回会議について

- ・日 時：令和4年11月16日（水） 午後7時から
- ・場 所：松平交流館 大会議室
- ・議 題：答申 など

〔	次回分科会開催日	
	・安心安全分科会	12月13日（火）午後7時から
〕	・まちづくり構想策定部会	11月24日（木）午後7時から